

JCSだより

シドニー日本クラブ会報誌 Japan Club of Sydney Monthly Magazine

4

2019



カウラ多文化祭に参加しました！

2019年のゲストカントリーは日本です

今年も東日本大震災復興支援イベントは大盛況

クリーンアップ・オーストラリアに参加

第7回シドニー日本語学校合同教員研修会を開催

www.japanclubofsydney.org

クリーンアップ・オーストラリアに参加

3月3日(日)、レーンコーブ・ナショナルパークで恒例のクリーンアップ・オーストラリアに、シドニー日本人会のみなさんと一緒に参加しました。

毎年3月の第1日曜日は、全国一斉にオーストラリアの公園や浜辺をきれいにする環境美化の日です。

当日は、大人から子どもまで総勢120人(日本クラブ10人、日本人会110人)が、公園内や周辺の道路でゴミを拾いました。終わった後は、参加された皆さんでバーベキューを楽しみました。



「しらせ」がシドニーに寄港

今年も日本の南極観測隊員を乗せた砕氷艦「しらせ」が、南極から日本に戻る途上、シドニーに寄港し、関係者を招いての艦上レセプションが、3月20日(水)午後6時30分から、日系コミュニティをはじめオーストラリア人関係者等を招いて、盛大に開催されました。日本クラブからも、役員及び会員の方が参加し、南極の氷の入った飲み物をいただき、皆さん「南極の味」を味わっていました。

(左から：水越会長、富岡シティ校運営委員、渡部副会長、チャーカー相談役、コストロ・シティ校代表)

NSW州首相ハーモニーディナーパーティ開催

毎年恒例の各民族語学校の代表者等を招いての州首相主催ディナーパーティが、2月28日(木)に催され、日本クラブからは水越会長はじめ、日本語学校シティ校とエッジクリフ校の先生と運営委員が参加しました。

写真は、着物や浴衣姿で日本をアピールした、JCS日本語学校の先生と運営委員の皆さんです。



■表紙の絵 さくら

日本の春のイメージをしたら、桜のことを思いました。
また、いつか、日本の春に行って、桜を見たいです。

阿部早希 (Kindy)

ダンス校 太陽組 (現 虹組)



東日本大震災復興支援映画上映会と東北郷土料理&物産展開催

東日本大震災復興支援イベント大盛況

2011年の東日本大震災発生から8年目を迎えた3月11日(月)、JCSレインボープロジェクト主催の東日本大震災復興支援イベントをシドニー市内で開催しました。

震災発生時刻の16時46分(シドニー時間)、浄土真宗西本願寺派の渡部住職による黙祷から始まり、17時から福島県南相馬市の小学校マーチングバンド部を追ったドキュメンタリー「MARCH」を上映。その後、東北郷土料理のお弁当夕食会を行い、19時から、福島県、宮城県、岩手県の被災者が強く現在を生きる姿をとらえたドキュメンタリー映画「一陽来復(いちようらいふく) Life Goes On」を上映しました。このドキュメンタリー映画は昨年に続き2回目の上映でしたが、多くの方に観賞していただき、再度大きな反響を呼びました。

会場には、宮城県の物産展示販売、被災蔵のお酒試飲、被災地写真展なども開催され、平日の夜にも関わらず、延べ250名の方にお越しいただき、会場は満員でした。販売や寄付による収益は2100ドルほどになり、JCSレインボープロジェクトの東北被災地リーダー育成プログラムに充てられます。復興支援イベントにお越しくくださった皆様、ご協力誠にありがとうございました。

また、東北郷土弁当の食材をご提供いただいた東京マートはじめ、ふくしま会、JIPANGレストラン、書家レン氏、Davidson High SchoolのICET学生の皆さん、YS会計事務所の皆様に多大なご協力をいただきました。日本からも登米市観光物産協会、南三陸町観光協会、森島酒造などにご協力頂きました。誠にありがとうございました。

JCSレインボープロジェクト一同





2019年の ゲスト国は日本 カウラ多文化祭に参加



(上)お神輿を先頭にパレードしました
(左)パレード参加者集合写真



シドニー日本クラブでは3月16日(土)・17日(日)の週末、シドニー日本商工会議所とシドニー日本人会との共催で、「カウラ多文化祭・ブレイクアウト75周年特別バスツアー」を催行し、三団体の会員33名が参加しました。

カウラ多文化祭は、「和解の郷里 (Home of Reconciliation)」として知られるカウラのコミュニティ・イベントで、1965年以来毎年開催され、数千人が参加するイベントです。2019年はカウラ捕虜収容所集団脱走事件から75周年を迎え、日本がゲスト国(1966年以来2度目)に選ばれました。

ツアー初日はFestival Paradeに参加しました。子供用のミニお神輿を先頭に、皆さん着物や浴衣、法被を着てカウラ市内をパレードして会場の公園まで歩きました。翌日は、捕虜収容所跡地を見学し、その後、日本人墓地で渡部副会長の読経の中、参加者皆さんがご焼香をして慰霊を行いました。お昼にはジャパニーズガーデンを見学し、昼食後、シドニーへの帰途につきました。



総領事を囲むJCSのツアー参加者



(上)パレードの様子
(左)日本人墓地で読経する渡部副会長
(下)捕虜収容所跡地でツアー参加者による記念撮影



理事会から

日時:3月6日(水)19時~21時 場所:Dougherty Community Centre, Chatswood
出席:八重樫領事、Chalker、水越、藤田、林、渡部
欠席:平野、多田、Costello、川上、松隈、Fraser、Joannes、Cooper

1. クリーンアップオーストラリア(3月3日)報告

ダundas校から初めて参加した家族を含め、11人がJCSより参加。全体で120人程が集まり、清掃活動の後は、BBQで交流を深めた。

2. 日本語学校報告

●City校:12クラス、生徒数208名、148家族、休学2名

2月16日に総会を行った際、資産の一部を使って教材開発を進めていく承認を得た。翌週には、ロックダウンを行った。雨天のため避難訓練は、3月2日に行った。3月2日より3週間にわたりクラス保護者会を開催し、担任から今年の授業計画やアドバイスを保護者は、受けている。3月9日には、他校からの参加もあり日本語学校合同教員研修会を行う。今学期は、グラント申請があるため、その手続きに向け準備をするめている。ミニスターズアワードの推薦者を決定し、申請の準備を開始した。

●Dundas校:9クラス、121名、84家族

新学期を迎え、避難訓練も無事に行うことができ、2月16日より3週にかけてクラス保護者会を行い、各クラス、先生と保護者が今年一年の授業内容等について話し合いを行った。子どもたちの為に学校だけでなく、家庭でも日本語学習意欲向上のサポートをお願いしている。3月2日は各クラスでひな祭りの行事を行った。四季折々の行事に触れながら日本文化や日本語への理解を深めていきたい。3月9日はこいのぼりの手形取り、3月23日はフリーマーケットを行う予定。現在、グラント申請の準備、次期役員候補の選定を行っている。

●Edgecliff校:4クラス、生徒数40名、31家族

2月2日に2019年度の始業式と保護者会を開催。今年度は幼児部を設けず、小学準備クラスと小学部2クラス、そして国際クラスの合計4クラスでスタートした。新年度の新しい先生2名も決まり、教師4名、アシスタント1名、ボランティア3名、運営委員3名の体制で今年度の学校運営を行っていく。

エッジクリフ校ではまだクラス数も少なく、子どもたちも低学年のため、JCSの他校のように、スピーチコンテストやクラス発表会などを行ってこなかったが、今年度は検討する予定。また、校外に出かけての課外活動も検討中。美術館に出かけて写生を行うなど、教室での授業の枠から出ることも考えている。

3. カウラ多文化祭への参加

●3月16&17日一泊二日バスツアーについて

日系3団体で40人乗りのバスをチャーターし、JCSからは今回会員が9人参加し、パレードでは着物やJCSの法被等を着てうちわ、鳴子、お神輿などを持って参加する。2日目は、カウラブレイクアウトの捕虜収容所跡地や、戦没

者墓地を見学し、日本人墓地ではお参りも行う。

4. 東日本大震災復興支援イベント

3月11日16:00-21:00@Sydney Mechanics' School of Arts

3月11日のイベントに向け、お弁当や、物産展等の用意がJCSレインボープロジェクトの関係者により万全に進められている。当日は、黙祷、物産展、写真展、映画上映会等が行われる。

5. クラブ会員の活動について

JCS傘下の各クラブに関して、JCS会員以外の方も参加して活動を行なっているが、活動の大きさ、非会員の割合に応じてJCSが負担している損害賠償責任保険(Public Liability Insurance)の費用を分担する案が話し合われた。4月の理事会で再度討議する。

6. その他(今後の予定)

○6月1日(土)パラマタ日本の祭 金魚/ヨーヨー/ワークショップ

○7月13日(土)JCSフェイト 会場予約済(支払済)

○8月17日(土)年次総会2:30pm~(役員選挙:5月会報で告知、6月末までに投票、7月開票)

○9月14日(土)チャッツウッド日本の祭

○11月24日(日)忘年会(ランチ)(会場検討中)

○12月7日(土) Matsuri Japan Festival 2019(ダーリングハーバー)

○会員世帯数 357世帯(一般94世帯、学校263世帯)

○次回の理事会は、4月3日(水)午後7時~

JCS創立35周年記念エコバッグ

会員の皆さんに記念エコバッグを無料で配布しています。まだ受け取られていない方には、JCSの各種イベントにご参加の際にお渡ししています。

お持ちの方でもう一つ欲しい方や、お友達にもあげたいという方には、1個\$5で販売しています。



親睦の会 だより

- ・A地区 (North Sydney以南) 加藤真理 (Tel: 0405-235-365)
Email: marikato777@gmail.com
- ・B地区 (Chatswood以東) 朝比奈富美子 (Tel: 9453-0058)
Email: fumikopixie@gmail.com
- ・C地区 (St.Ives以北) 朝比奈富美子 (Tel: 9453-0058)
Email: fumikopixie@gmail.com

親睦の会役員

会長: 林さゆり、副会長・会計: リヒター幸子、幹事: 加藤真理、事務局: ピアス康子
ボランティア: 朝比奈富美子、カーター洋子、橋本克子、ファレル道子、村田智富子 (五十音順)

会員募集

シドニー日本クラブ会員の親睦と交流の集いです。和やかな雰囲気の中、和食弁当を食べながらの情報交換後には、様々な趣向を凝らした内容で楽しんでいます。JCSシドニー日本クラブの会員でしたら入会金は不要。年齢・性別・国籍は問いません。ビジター也大歓迎です。新しい輪を広げましょう。お気軽にご参加ください。

■2019年4月例会のご案内

日本語って素晴らしい！面白い！

その妙味に触れて俳句を作ってみましょう！

シドニー俳句会元主宰、伝統俳句誌「ゆく春」に俳文・俳句を掲載し、日本との「俳句交信会」を維持なさっておられる生方氏をお招きして、日本語の風情や俳句の作り方を伺います。

昨年の10月例会で、この俳句の会を開催する予定でしたが、生方氏が体調不良のため延期となり、10月の例会は急遽「テーブル対抗雑学クイズ大会」を開催しました。

既に大勢の会員から沢山の俳句が届き、生方氏に目を通していただいています。その俳句の批評や、歓談しながらの意見交換も楽しみです！是非お友達をお誘いになって、お気をつけてお越しください。

■日時: 2019年4月13日(土) 正午～午後2時40分

■会場: The Dougherty Community Centre
7 Victor Street, Chatswood

■会費: 会員\$5、非会員\$7(お茶・コーヒー・紅茶、会場費込)

■お弁当の注文: 和食弁当\$12

■マイカップ持参のご協力ありがとうございます。

4月8日(月)迄に、地区担当者まで、欠席または出席かのご連絡を下さいますようお願いいたします。(各地区の連絡先は、このページの冒頭をご参照ください。)また、お弁当の注文個数も併せてお願いいたします。

【お知らせ】

■例会での古本・DVD市のテーブルには、いつものように故日野原重明先生の「新老人の会」の小冊子を置いてあります。随時新しい版を追加しています。ご自由にご覧ください。どの古本・DVDとも、50セントで販売しています。もしもご購入されたDVDが映らない場合は、交換しますのでお知らせ下さい。ヤング京子さん、書籍のご寄贈ありがとうございました。収益金は会の運営に有り難く使わせていただいております。重ねて御礼申し上げます。

■5月例会のご案内

「素敵なコースランチと潮風と…」

サーキュラー・キーからフェリーに乗船、ローズ・ベイで下船します。高級住宅街のローズ・ベイの海に面した、かの有名な「八兵衛」でランチ。コース料理を堪能した後、フェリーでワトソンズ・ベイへ。寄せくる波を眺めながらお散歩、絶景の自然に包まれた後、帰路フェリーでサーキュラー・キーへ。

■日時: 2019年5月11日(土)

■ランチ代: 50ドル(会員には、親睦の会から20ドルの補助金を支給しますので、お支払いは、お一人様30ドル。)

■コースランチ内容: オントレ数種、メイン、寿司、そば、デザートなど

5月例会「素敵なコースランチと潮風と…」の時間等などの詳細は、追ってEmail及び「JCSだより」5月号でお知らせしますが、参加ご希望の方は、

お席の準備もありますので、お早目に林さゆり会長までEmailにて、ご連絡を下さいますようお願いいたします。

尚、お友達をお誘いになっても構いません。日頃と一味違うひとときを愉しく過ごしましょう！

※「八兵衛」歴史的建造物として保存されているヘリテージ内に構え、権威のあるレストラン評価本「グッドフードガイド」では、毎年ハット(シェフの帽子マーク)を取得。シェフ歴30年のベテランシェフとその磨き上げられたチームによる斬新な創作和食は、非常に高い評価を得ています。



3月9日(土)、親睦の会3月例会を開催しました。講師に、池田恵子氏をお招きして、日常でも簡単に取り入れられるマクロビオティックや食事法など、大変価値のあるお話を伺いました。健康に良い梅醤番茶の試飲もさせていただき、血行を良くする体操も体験できた有意義な時を過ごしました。

クラブライフ



Children's FestivalとCulture Festivalで踊りました

2月24日(日)の「Culture Festival」(Asshfield Park, Asshfield)のイベント(写真右)で踊った後は、3月10日の「Sydney Children's Festival 2019」(First Fleet Park, Circular Quay)(写真中)で踊りました。

また、来月5月8日(水)に「JTAN Culture Day」(Surry Hills)でのワークショップを予定しています。なお、4月6日(土)の練習の後に、踊り隊の総会を行います。

私たちの踊りが少しでも日豪文化交流に結びつくようにと元気に踊っています。一緒に踊りたい方、大歓迎！お気軽に練習にご参加ください。(写真左はSydney Lunar Festivalでの出演メンバー)

Cammeray Public School (Palmer Street, Cammeray) 毎週土曜日2時～3時

参加ご希望の方は、Email: jcs.soran@gmail.com までご連絡ください。

<http://syneysoran.wix.com/dancetroupe>



フラダンスを踊りませんか？

JCS Hula Aloha Hawaiian Groupは、シドニーにフラダンスの会として発足して6年になります。

体を動かす気持ちの良さを感じながら、明るく楽しく美しく、健康をモットーに和気あいあいと踊っています。(写真は2018年の祭りの舞台)

興味のある方は是非、見学にいらして下さい。年齢は問いません。

練習日：毎月第二火曜日午前11時～12時

場所：Dougherty Community Centre Annex,
Chatswood

お問い合わせは真理まで(メール: hulaaloha2067@gmail.com)



春季ソフトボール大会で見事優勝！

JCSソフトボール部「シビックス」では、毎年、春と秋に催されるシドニー日本人会のソフトボール大会に出場しています。2018年は11月の春季大会で見事に優勝を果たしました！(写真)

2019年の第81回秋季ソフトボール大会は、5月12日(日)開催です。(※雨天の場合は、5月19日(日)に延期)場所は、いつものWilliam Cowan Oval, St. Ivesです。連覇目指して頑張りますので、是非、応援してください。

「シビックス」では会員募集中です。一緒に優勝目指しませんか？家族で応援に来ませんか？

興味のある方は是非、ご連絡ください。

メール: ckato@nmpa.com.au または、電話: 0402-011-198 (ソフトボール部部长 加藤雅彦)



将来のお薬をつくる協力をしませんか

医療ボランティア募集

費やしていただいた時間に対して謝礼金をお支払いします

シドニーにご滞在の皆様へ、医療の将来を大きく変える可能性を秘めた臨床試験をご紹介します。

臨床試験(治験)とは

国からお薬として承認を受けるために行う薬剤開発を目的とした臨床試験のことです。薬の有効性(効き目)や安全性(副作用)人種やライフスタイルによる薬学的差などについて調べ広く一般的に使えるようにすることを目的としています。大きく医療の将来を変える可能性を秘めており、医療ボランティアの参加は社会貢献度の高いものと言えます。

Scientia Clinical Research

私たちの研究とは・・・

私たちはシドニーのRandwickでUNSWをパートナーとし実際に健康な方や患者さんに薬の候補を使ってデータを集めています。試験は参加者の安全確保のため政府機関の厳しい法的規制の下に実施されています。Scientiaでは参加者の安全を第一に、専門のトレーニングを受けた医療者が24時間体制で対応しています。また通訳がいますので安心してコミュニケーションを図っていただけます。



参加特典

- ・ 新設のクリニックに滞在1日3食の食事つき
- ・ WiFi 完備
- ・ TVゲームあり充実のエンターテインメント設備
- ・ 他国籍の参加者と友だちになりやすい環境
- ・ 無料で健康診断が受けられる
- ・ 謝礼金がもらえる



募集要項

18歳以上の健康な方

※内服の有無や既往歴、喫煙に関しては研究により条件が異なります

参加の流れ

1.会員登録:電話問診

健康状態や病歴を伺い、ある程度の参加適性を判断します

2.説明会と健康診断

研究に関する詳しい説明をお伝えします。健康状態および参加適性確認のため検査を実施します(身長 体重、血圧、心電図、尿検査、血液検査、医師による診察等)

3.研究参加(数泊の入院と外来通院)

4.謝礼金のお受け取り

費やしていただいた時間や交通費など負担を軽減するため協力費としてお支払いしています。

お問い合わせ先

1800-727-123 (日本語)

Recruitment@scientiaclinicalresearch.com.au

ボランティアの申請

<http://www.scientiaclinicalresearch.com.au/japanese/>





JCSコミュニティネット

福祉情報サイト : <http://www37.atwiki.jp/carenetsydney>



シドニー保養ホームステイプログラムを実施 福島県から高校生4人が来豪し、シドニーとカウラを訪問

コミュニティネット主催のホームステイプログラム「FCM - Future Connect Move(未来・繋ぐ・動く)」が、3月8日から19日まで実施されました。このプログラムは8年前の東日本大震災の際に被災した子どもたちを招いて、シドニー郊外の自然豊かなクリスチャンスクールで英語を学びながらオージーの生徒たちと交流するというものです。

福島県いわき市の高校生4人(18歳の男子2人と、18歳と16歳の女子2人)がシドニーに到着したのは3月9日の午前11時頃でした。飛行機の変更などがあり長旅になってしまったにもかかわらず元気いっぱいさわやかな笑顔で到着しました。シドニーオペラハウスの前で写真を撮り、車でシドニーの街並みを眺めながらホストファミリーのもとへと向かいました。

ホストファミリーの皆さんと会い、最初少し緊張気味であった生徒たちでしたが、あまりにも温かくフレンドリーなオージー流の歓迎を受けてすぐに打ち解け、ホストファミリーと会えたことの嬉しさが隠せない様子でした。

7日間お世話になった各ホストファミリーの子どもたちは、すべて今回生徒たちを受け入れてくれた学校に通っており、毎日のようにホストファミリーの皆さんでアクティビティを準備していただき、BBQデー、ピザ・デー、

フェザーデール動物園見学など充実した毎日を送ることができました。また毎日午前中は特別に用意された英語研修、午後は事前に選んだ選択



科目を取って毎日オージーの生徒さんのクラスにバディと一緒に参加しました。小さな学校でしたが心配りが素晴らしく、オーストラリアの中にこんなに温かい学校があるのだと感動いたしました。

生徒さんたちが到着した翌々日は3月11日にあたり、学校でもアッセンブリーが特別に行なわれました。当時8歳から10歳だった生徒たちから、その時の怖かった様子や人々の連帯の様子が全校生徒に向けて語られました。

3月16日、ホストファミリーの皆さんとこれからの繋がりを固く約束した生徒たちはチャーターバスに乗り込んでカウラへと向かいました。このツアーは私たちコミュニティネットの強い願いにより実現しました。カウラ事件については、オーストラリアの地を訪れた皆様には必ず知っておいてもらいたい歴史であり、それは日本人としても忘れてはならない大



切な歴史の一部であるからです。

また、カウラを長年に渡り訪問され、今回のツアーに同行していただいたIECツアーの中嶋様から次のようなメールを頂きました。

「カウラでは代表的な訪問地の他に、日本人墓地の墓守として長年日豪の架け橋として努力されてきたドン・キブ

ラー氏を訪問できました。彼は数年前に天皇陛下より感謝状を授与されるために112回目の日本訪問をしましたが、現在は体調を崩してホスピスで静かに暮らしています。4人の生徒さんが千羽鶴を用意したので、どこかに寄贈したいということでしたので、このキブラー氏を急遽見舞い、千羽鶴を贈呈することになりました。『あの日僕たちの命はトイレットペーパーよりも軽かった』のドラマにも出演していた方ということ



で、4人は驚いていました。高校生にはカウラという町の歴史は興味ないかもしれませんが、将来的に何かの折に思い出してもらえればと思います。」

生徒たちにとって信じられないほどの素晴らしいプログラムとなりました。コミュニティネットのファンドがこのような形で、福島の子どもの未来に小さな思い出として残すことができたことを、何よりもうれしく思っております。

(コミュニティネット代表 リンカーン瑞枝)

JCS日本語学校シティ校 JCS Japanese School

学校 Ultimo Public School

(177 Wattle Streets, Glebe NSW 2037)

連絡先 PO Box 902, Glebe NSW 2037 電話:0452-141-618

授業 毎週土曜日／幼児部:9:30～12:10、小学部:9:30～12:15

Email student.city@jcs.org.au

Web <http://cityschool.japanclubofsydney.org/>



1学期の終了

3月30日でシティ校は1学期を終えました。今年はイースターの祝日とスクールホリデーが重なったため、現地校より2週間早くホリデーに入りました。この1カ月の間に日本語を忘れてしまわないように毎日少しずつ春休みの宿題をして2学期に備えて頂きたいですね。

昨年から続いている現地校の新校舎の建設では基礎工事も終盤に入ったようです。地下部分の基礎は終了し、地面の上の工事に掛かっています。この休みの間にどこまででき上がるか楽しみです。

新しい校舎では、800人が収容できる大きいホール、教室は現在の倍の30室、屋上にはバスケットボールなどのスペースもできるよう。4学期中に完成予定ですので、もうすぐですね。



さて、5月から2学期が始まります。初日はこどもの日の行事です。例年通り「こいのぼり」と写真撮影を行う予定です。シティ校では日本語の勉強と同時に日本の文化も子どもたちに継承するように努めています。日本の文化や習慣を学ぶことは、日本語を勉強する上でもとても大切なことだと思います。

また、恒例の“Big Morning Tea”も開催します。現地校へのファンデレイジングの一環で行っていますが、子どもたちも実際に自分で日本語を使いお買い物が楽しめます。いろんな角度から子どもたちが楽しく日本語を学べるように努めさせていただきます。

クラス紹介 パンダ組

パンダ組は男の子14名、女の子6名、計20名の元気な幼児部です。5名の編入生を迎え、日本語学校が2年目となる子どもたちが多いため、新学期が始まり数回は泣いて登校する子もいましたが、今ではみんなニコニコで学校に来ています。

学校に来たらまずは…朝の準備！自分の席にかばんをかけて→宿題ファイルを提出→シール帳を探したら、その日の日付にシールを貼る→名札を付けるという流れを練習しています。昨年はお父さんやお母さんに手伝ってもらっていたことも、一人でできた！という喜びや楽しみを感じ成長につながっていったと思います。

クラスの一日の流れは、歌・発表・文字の練習・カード遊びを通して聞く・話す・読む・書くの4技能の学習を取

り入れています。2月の歌として大人気だった「鬼のパンツ」は踊りも交えながら行ったのですが、「もう1回～」と毎回リクエストがあるほどでした。1学期の歌としては「森のくまさん」を歌っているのですが、歌が長いということと、文字を読みながら歌ってほしいという思いから動画をみながらの輪唱形式で歌っています。

発表では、【教えて、どんな本？】と言って、毎週お家でどんな絵本を読んだのか発表してもらいます。クラス名・名前・絵本の名前・その本を読むとどんな気持ちになるのか？を発表しているのですが、よく知られている絵本の名前が出てきたりすると「知ってるー！持ってるー！」という声が聞こえてきて、お友達同士の会話の話題になったりします。「これ、楽しいよねー」や「かわいくまさんが出てくるんだよねー」等どんどん会話が膨れるとたまに誰が発表者か分からなくなるくらい盛り上がってしまうこともあるのですが…。でも、子どもたちから沢山の日本語が聞こえてくると嬉しいですね。

文字の練習では、1文字書きからスタートし、次回からは3文字書きに突入ということでどんどん難しくなっています。文字の認識もそうですが、正しい姿勢で、ゆっくりと丁寧に字を書くようにしています。どうしても時間が進むにつれて姿勢が悪くなってしまったり、足が開いてしまったり、足が椅子の上に…なんてこともあるのですが、毎回文字の練習の前には【お背中ピッ！お腹と机はぺったんこ！足はグー！】と言ってから始めるようにしています。

カード遊びではかるたをメインにやっていますが、しっかりとゲームを理解できているからか沢山取りたい！という気持ちの子が多く、子どもたちの目はギラギラと燃えていてすさまじい戦いが繰り広げられています。しかし先生が「今のは〇〇くんだったな」と伝えるとしっかり譲ることもでき、悔しいながらも楽しんでくれているようです。

幼児部ということもあり今はまだ勉強メインというわけではないのですが、学校を楽しんでくれることを第一とし、来年の小学部に向けて椅子に座れる時間を長くしたり、文字の認識や理解を深めていきたいと思っています。
(担任:川村慶子)



JCS日本語学校ダンドラス校 JCS Japanese School Dundas

学校 Dundas Public School
(85 Kissing Point Road, Dundas NSW 2117)

連絡先 電話:0411-734-819

授業 毎週土曜日/9:30~12:15

Email jcs-jpschdundas@live.com

Web <http://dundas.japanclubofsydney.org/index.html>



1学期の様子

シドニーも秋に入り、急に朝夕が涼しくなってきましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか？もうすぐ、秋休みも始まりますね。

1学期は2月16日から3週に渡り、クラス保護者会が行われました。先生から授業内容・学習目標についての説明があり、クラスでの生徒の様子も教えていただき、とても有意義な時間となりました。3月2日にはひな祭りの授業が各クラスで行われ、歌を歌ったり、ひな祭りにちなんだ工作などをしました。最後にはひなあられも配られ、シドニーでもひな祭りを味わうことができました。3月9日には毎年恒例の新入生・編入生の手形取りが行なわれました。この手形をこいのぼりの鱗の形に仕上げて、大きなこいのぼりに縫い付けていきます。こいのぼりは2学期の第1週目に全校生徒にお披露目される予定です。

また3月16日には学校のファンドレイジングをかねてのフリーマーケットが予定されています。保護者の方同士での良い交流の場となるほか、売り上げや参加費の一部を学校に寄付してもらうことで、保護者のみなさんのご支援を学校運営に生かしていきます。第8週の3月23日は学校が選挙のために使用されるのでダンドラス校は休校となります。



クラス紹介 大地組



今年からダンドラス校の大地組を担当する林和子です。私のクラスは、男子6人、女子5人の11人です。全員、昨年の朝日組で教えてきた生徒です。みんなは5年ぐらい同じクラスで勉強してきましたから、お互いによく知り合っています。子どもたちはとても元気で、男の子らはおしゃべりが好きです。そして女の子たちは、協力的で落ち着いています。しかし、学年が上になればなるほど勉強時間が増え、日本語に費やす時間を作るのが難しくなります。そんな中で、土曜日の朝ダンドラス校に通って来る子どもたちは既に頑張っているのを褒めてあげたいと思います。

大地組は、国語の教科書三年生の上、下を使用します。日本語にはひらがな、カタカナ、漢字、ローマ字の4つがありますが、3年生でローマ字が入ってきます。まだまだカタカナの定着が難しい中、子どもたちにとって大変な作業です。そして1年間の内容は、新出漢字200字、語彙の拡大、習った漢字を使いこなす、助詞を正しく使う、自分の考えや感想を文章にして発表することなどを目標にしています。しかし、授業はお楽しみ会などを除けば33回しかありません。その短い期間に成果を挙げるには、宿題で補うしかありません。かなりの努力が必要です。

1学期は文化活動として、節分、ひなまつりがありました。今年には授業に取り入れることができませんでした。そこで教科書以外に、都道府県などの名前と場所を見てみましょうの本を使って両親の出身地の特徴を調べたり、科学の不思議「なぜ？ どうして？」や、知ってびっくり！「もの」はどうやってできたのか、などの本を使って調べることの楽しさを知ってもらうことも授業の一環としました。まだ、始まったばかりで、授業の様子をお知らせすることはできませんでしたが、大地組の生徒がこの1年間を有意義に日本語の勉強に役立ててくれることを期待しています。

(担任:林 和子)

JCS日本語学校エッジクリフ校 JCS Japanese School Edgecliff

学校 Ascham School
(188 New South Head Road, Edgecliff NSW 2027)

連絡先 電話: 0412-283-393

授業 毎週土曜日 / 14:00~16:35

Email jcs.edgecliff@gmail.com

Web http://edgecliff.japanclubofsydney.org



避難訓練とロックダウン



3月16日に避難訓練を行いました。1時間目に避難訓練について各担任が生徒に説明して、その後に始めるような流れにしました。集合場所を間違えたクラスが出たり、ベルの音を聞いてさっさと教室を出て行ったクラスがあったり、ちょっと慌てましたが無事終了しました。23日にはロックダウンを行いました。年に一度の避難訓練とロックダウンですが、年度の始まりの1学期中に行って、子どもたちにもいざという時の訓練として大事な授業です。



クラス紹介 うぐいす組

うぐいす組は、KindyからY4の11人が、小学一年生の国語教科書を使い学んでいるクラスです。今まで学習してきたひらがなとカタカナをしっかりと使えるよう練習しながら、もうすぐ始まる漢字学習にも意欲的に取り組んでいきたいと思っています。そして漢字の混ざった文章を読み、内容を理解して、自分の意見が言えるようになるのが目標です。生徒の年齢に幅がありますが、日本語能力もまちまち。先生の指示を理解するのに苦労する子もいれば、自分の意見をすらすらと言える子もいます。一方、聞いたり話すのは苦手でも、読んだり書いたりするのは得意という子も。そこでクラスルールの一つ“たすけあう—得意なことは人それぞれ。一人一人ができることをやり、助け合ってみんなで学習する”を日頃から実践しています。



「ひらがなあつまれ」という単位では、二人一組になり、まず目64文字の中から“隠れている言葉”を見つけ出します。あり、くさ、えび、ねこ…と2文字の言葉から、とけい、すずめ、だいく(3文字)、しりとり、ともだち(4文字)、そして、いちねんせい…と6文字の言葉まで、「これもそうかな？」などと相談しながら、協力して言葉探しをすることができました。

また、日本語をすらすらと読めない子供たちにとって、音読は苦戦します。「おおきなかぶ」も、“○○を○○がひっぱって、○○を○○がひっぱって、…”と繰り返されるリズムや、“うんとこしょ どっこいしょ”の響きも、楽しむというより、小さい「つ」や「よ」に引っかかってうまく読み進められません。そこで、おじいさん、おばあさん、まご、犬、猫、ねずみと生徒が登場人物となり、動作を付けて読んでもらうことにしました。すると不思議。一人一人が自分の役割をすっかり理解し、文字通り力を合わせて大きなかぶを抜くことができました。読み方にたどたどしさは残りますが、みんながニコニコ顔で取り組んでいた楽しい授業となりました。

(担任: 田中静子)

JCS教育支援委員会より 第7回合同教員研修会を開催しました

3月9日(土)、今年もシドニー日本語土曜学校教務の阿部圭志先生をお招きして、シドニーの日本語学校で教育に携わる教員の方々を対象に、7回目となる日本語学校合同教員研修会を開催しました。この研修会は、他校の先生方と学習活動のアイデアや意見・情報の交換・共有ができる貴重な機会です。

今年は4校18人の先生方が参加され、熱心に阿部先生のお話を聞き、出された課題に取り組んでいました。

〔今回の内容〕

- ①第1回アジア・太平洋地区補習授業校研究協議会の報告、
- ②これからのCLSのために、③教育目標・理念と単元の設定、④まとめ・質疑応答



念願の犬を手に入れました

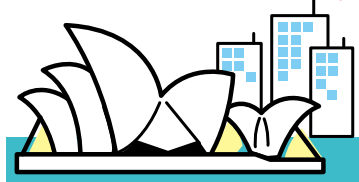
昨年、ペットを飼える家に移り、12月にHunter Valleyのブリーダーまで引き取りに行ったCavoodle。まだ5カ月の小さな黒い体が理由ではないのですが名前はPepper。

移ってきたころは夜2時間ごと起きてクンクン泣いていたので子育てのように寝不足になりました。うんちもおしっこもそこら中にしていたのでスチームクリーナーを買い、何度もカーペットを掃除。家族みんな仕事や学校に出かけるので留守番の時はビデオカメラを置いて様子を携帯から見たり、Dysonの扇風機で気温や湿度をチェックしたり。



最近は夜はちゃんとちゃんと長く寝てくれるようになり、留守番もいい子で待っていてくれますが、正しい場所でのうんちはまだまだ半分程度の成功率。でも家に帰ると喜んで駆け寄ってきてくれるPepperのおかげで、また家族の中で笑いと幸せが増えているようです。(JUN)

シドニー スケッチ



色鮮やかなマルディ・グラ・パレード

最近では日本でも、同性婚の問題が、よく取り上げられていますね。シドニーでは、3月2日に世界最大と言われるGay and Lesbianのマルディ・グラ・パレードが市内で行われました。街のいたるところが、Rainbow FlagやLGBT Pride Flagのレインボーカラーで包まれ、色鮮やかでした。Oxford Village をスケッチしました。



スポーツ天国 SPORTS



123

サンウルブズ除外

15人制ラグビーユニオンの世界最高峰リーグ「スーパーラグビー」に、日本から唯一参加しているサンウルブズが、2019年以降から除外されることになったそうです。アジア唯一のチームなので、南半球から日本への遠征費用が馬鹿にならないのはわかりますが、今年は日本でワールドカップが開催され、世界(特にアジア)での普及に貢献するはずだったのですが、残念な結果

です。オーストラリアでの日本チームの公式試合は今年が最後ということになります。

(ぴか)



※会員の皆さんからの情報も受け付けています。

Eメールは、kenerit@gmail.comです。

よろしくお願いします。(ぴか)

キラリと光る

あの人・この人

田中静子さん

JCS日本語学校エッジクリフ校教師

今月は、田中静子さんのご紹介です。

JCS日本語学校エッジクリフ校の先生でもある静子さんですが、ナント！ご実家は、明治2年(1869)創業の茨城県日立市にある森島酒造です。



父である森嶋鎮一郎社長製造の「大観 純米大吟醸」は、2018年9月に、日本航空国内線のファーストクラスの搭載酒に選ばれ、全国新酒鑑評会でも森島酒造は、「金賞」受賞が9回！と日本でも評判のお酒を作られています。

2018年から静さんは、シドニーでの試飲会に実家のお酒を出品して宣伝を始めました。シドニーでは、東京マートで販売をして頂けることになり、私も飲ませて頂きましたが、なんとも美味しいことに、感嘆しました！それもそのはず、六代目であるお兄さんの森嶋正一郎専務は南部杜氏試験に茨城県出身者で初めて合格し、現在、杜氏として長年に渡り代々受け継がれた技法を守り、そして新しい酒造りにも余念がありません。

静さんによると東京マートで購入できるのは、「大観」シリーズの中でも限定品として販売されている「熟成酒 富士大観」と「純米吟醸酒 ひたち錦」。只今、残念ながら品切れ！とのことですが、4月下旬に入荷予定だそうです。



この看板となっている「大観」の由来をお聞きすると、四代目の浩一郎さんが、親交を深めていた水戸市出身の近代日本画の巨匠・横山大観先生の元を訪ねました。先生はその頃から森島酒造の酒を愛飲して頂いており、浩一郎さんが冠婚葬祭にも良いお酒の銘柄を探していたところ、酒の旨さと浩一郎さんの終戦後の地元街復興への尽力を讃え、自らの雅号「大観」を下さったそうです。「大観」のラベルは横山大観の直筆です。

静さんはシドニーでのJCSレインボープロジェクトによる東日本大震災復興支援イベントでも、実家のお酒を提供して復興支援に協力をされています。東日本大震災の時は、森島酒造も大変な被害に遭われたそうです。

人物紹介
第76回



JCSレインボープロジェクト主催の東日本大震災復興支援イベント(2019年3月11日)で、実家のお酒を紹介する静子さん

静さんの先祖が代々150年間守ってこられた酒蔵が、様々な災難を乗り越えて今、南半球の地、オーストラリアのシドニーまで伝わり、美味しい日本酒をこの地に暮らす私達に届けて下さることは大変に嬉しいですね。

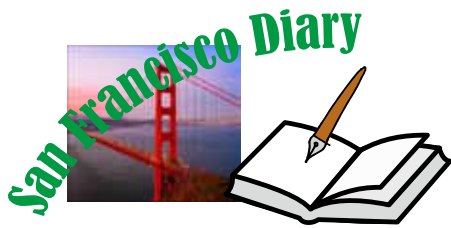
5月11日(土)には、東京マートでの試飲会が13:00から行われます。「是非、試飲会にお越し下さい！」と、静子さん。

伝統を守る酒造りの酒蔵に生まれ育った静さん、これからも静さんの活躍を見守りたいと思います。

(記事・Naoko Saito)



東京マートでお酒を紹介する静子さん



スーパーでRamen発見！

シドニーでもお馴染みの日本のラーメン。もちろん今私が住んでいるサンフランシスコにも沢山の美味しいラーメン屋さんがいます。NHK連続テレビ小説でお馴染みのまんぷく。実在の人物をモデルとした「インスタントラーメン」を生み出した夫婦の物語です。ドラマではインスタントラーメンが発明され日本全国どこでも大ブームを巻き起こしています。でも私はまんぺいさんとふくちゃんに教えてあげたい。お二人が発明したインスタントラーメンは海外の至る所にあることを。そして普通はスーパーマーケットの見出しに「NOODLE」と書いてありますが、見つけてしまったんです。「ramen」と書いてあるものを。何だかとても嬉しくなっていました。



日本再発見



極めている日本のウィスキー

この頃急に日本のウィスキーが好きになりだした夫。今まであまりアルコールには興味がなかった彼だが、ここ2、3年、オーストラリアでのウィスキーブームの波に乗って、シドニーで山崎を試したのがきっかけ。それからどこへ行っても、山崎、響、余市とオンザロックで美味しそうにチビチビとなめている。そこで日本へ行く時もひとつ楽しみが増えた様子。サントリーやニッカという古い歴史をもつウィスキー製造会社がある日本。なんでも凝り始めたらトコトン！の日本。サントリーやニッカのウィスキー専門店があったり、またそういう店はおつまみもオリジナルなものがあつたりと、ひとつ興味のあることが増えただけで、世界がグーンと広がった気分。オンザロックのグラスや氷ひとつにしても日本は極めてるな〜！と感心してしまう。一滴もアルコールを飲まない私だが、匂いやおつまみ、そして日本のトコトン文化に触れるだけでフルに楽しませてもらっている。

(みさこ)

お知らせ

MOSAIC日本語カルチャー教室

Willoughby Council運営のマルチカルチャーセンターMOSAIC(12 Brown Street, Chatswood)では、日本人のためのカルチャー教室が開かれています

(地域外の方でも参加できます)。

タイチー(太極拳)クラス

毎週水曜日2時半から、24式、48式を日本人講師から毎回20人程度の女性(平均年齢75歳?)が楽しんでいます。お揃いのユニフォーム姿で催事にも参加しています。最近は男性も増えつつありますので、ぜひお気軽にご参加を！参加費はたったの2ドル、終わったあとは爽快な気分です。



百人一首のゲーム

奇数月の第三水曜日午前10時から12時まで、MOSAICセンターで百人一首を楽しんでいます。

参加者の大半は初心者です、多くの新規参加者を募ります。

■申し込み先

MOSAIC日本ソーシャルグループ(Japanese Social Group)

担当: 榎本正弘

携帯:0422-019-930

Email: fairgo6007@hotmail.com

盆踊りグループ(Japanese Folk Dance Group)

日本の伝統的な盆踊りの会です。スクールホリデー期間を除く毎週金曜10時～11時45分まで、上記MOSAICセンターでさまざまな曲目を練習し、さまざまなイベントに参加して披露しています。参加費は、School Term毎に\$20.50(60歳以上のシニアは\$15.50)です。見学も自由、新しい方の参加を歓迎いたします。

お申し込みは: ファレル道子まで。

携帯:0401-363-006 Email: michikofarrell@gmail.com

コーラスグループ

毎月第2と第4金曜日の午後1:30～3:00、MOSAICセンターにて山村美和子先生のご指導によるコーラスの練習会が楽しく開かれています。参加費は\$2で、新しいご参加も自由、大歓迎いたします。

山村先生の連絡先: miwako@outlook.com

MOSAIC センターでは、Japanese Social Groupの活動のほかにも各種英語教室や趣味の教室が開かれていますので、一度訪ねられたらいかがでしょうか？



The Essential Duchamp

今月は、NSW州立美術館で4月27日から8月11日まで開催される、フィラデルフィア美術館が企画・監修する「The Essential Duchamp」(デュシャン 人と作品)展をご紹介します。

マルセル・デュシャン(1887～1968)は、伝統的な西洋芸術の価値観を大きく揺るがし、20世紀の美術に衝撃的な影響を与えたアーティストです。

展示作品は、1912年ニューヨークで発表、キュビズムに対する独特な取り組みによりデュシャンを一躍有名にした「階段を降りる裸体 No. 2」をはじめとする絵画や、便器を“アート”にした「泉」を含むレディメイド、映像、写真や、豊富な関連の文献・写真資料など、フィラデルフィア美術館が誇る世界有数のデュシャン・コレクション約125点以上が一堂に会します。

デュシャンは、最初絵画を描いていましたが、思想性や宗教性のない、感覚器官にだけ訴える“網膜的”な絵画に批判的になり、1913年から絵画とは別の方向に向かいます。後に“レディメイド”と呼ぶようになった「自転車の車輪」は、既製品の自転車の車輪が、台所用の丸椅子に突き



刺されていて、大量生産品から偶然に選ばれた日用品の組み合わせの“レディメイド”は、視覚的な美しさや作者の手技を重んじる芸術作品の価値観に揺さぶりをかけました。また、現代美術のスキャンダルとなった1917年の「泉」は、実用品の便器が美

Marvin Lazarus Duchamp at Museum of Modern Art's 'The art of assemblage' exhibition (Standing next to Fountain and behind Bicycle wheel) 1961 (detail) Philadelphia Museum of Art: Gift of Jacqueline, Paul and Peter Matisse in memory of their mother Alexina Duchamp, 13-1972-9(412). Artworks © Marcel Duchamp/ADAGP. Licensed by Copyright Agency photo © Marvin Lazarus



Nude Descending a Staircase (No. 2), 1912 Philadelphia Museum of Art: The Louise and Walter Arensberg Collection, 1950-134-59

は、アメリカの現代美術の始まりにおいて芸術の既成概念に反発したニューヨークダダと関わります。その彼の生涯においてカギとなる場面や重要な活動、また人間関係を概観することで、彼の作品の現代美術における重要性を伝えつつ、彼の多様な人となり、そして、芸術と生活の垣根をなくそうとするさまざまな試みをご紹介します。

彼は晩年に向かい、若い芸術家を紹介する展覧会の企画者となり、あるいはキュレーターという

裏方として活躍。芸術の世界そして広く文化人として伝説的な地位を獲得し、有名になっていきます。いわゆる芸術家としてだけではなく芸術活動に携わること自体により、芸術あるいは芸術家とは何かという垣根を打ち破っていくのです。

芸術の見方を変えたといわれるデュシャンに触れるこの機会を是非お見逃しなく！

(NSW州立美術館コミュニティアンバサダー：鴨粕弘美)

期間：2019年4月27日～8月11日

場所：コンテンポラリー・ギャラリー

入場料：大人\$20、コンセプション\$18、美術館会員\$16、家族(大人2人+子供3人まで)\$48、子供(5-17歳)\$8、5歳未満の子供は無料。(オンライン購入手数料\$2) 美術館にてマルチエントリー・チケット：大人\$36、コンセプション\$32、美術館会員\$29

術品として新しい題名のもとに選ばれた“オブジェ”だったという、芸術そのものの問い直しを迫りました。

本展は、オーストラリアで初めてデュシャンの業績を網羅して紹介する展覧会で、東京、ソウル、シドニーの3会場での巡回展。常に新しい表現方法を模索し続けたデュシャンの60年以上にわたる芸術活動をたどり、彼の人生そのものを紐解くものです。フランスに生まれ、第一次世界大戦中の1915年に渡米したデュシャン



Marcel Duchamp 'Bicycle wheel' 1964 (replica of 1913 original) wheel, painted wood, 59.7x64.8 cm Philadelphia Museum of Art, gift of Galleria Schwarz d'Arte, Milan, 1964-175-1 © Association Marcel Duchamp/ADAGP. Copyright Agency, 2018

アートレビュー

★5つ星評価

書籍



汚い部屋から今度こそ絶対抜け出す本

著者：村越勝子・笠原恭子

発行：2009年 永岡書店

★★★★★

片付け術が日本から世界へ発信されている昨今。「何でもかんでも捨てる！」みたいなちょっと脅迫されてる気分がするような本ではないので、読みやすい。片付け下手な私が読んでも、「あ、なんか私にもできるかな」「ちょっとやってみようかな」と思えるような、ほんわかしたゆる〜い感じがよい。特に新しいテクニックが書いてある、というわけではないかもしれないが、定期的に読み直して「よっしゃ、片付けるか」という気にさせてくれる。特に、「生活や行動パターンに合っていない片付けは長続きしない。ズボラ&ラクチンに片付け方法を考えよう」という考え方には、「お〜、なるほど！」と思わせられる。「片付けられない女」を今すぐやめたい人にお勧めの一冊。

ガーンジー島の読書会

(The Guernsey Literary & Potato Peel Pie Society)

監督：マイク・ニューウェル

原作：メアリー・アン・シェイファー、アニー・バロウス

出演：リリー・ジェームズ、マイケル・ヒューズマン、グレン・パウエル他

制作：2018年イギリス・フランス（124分）

★★★★★

米英でベストセラーになった小説の映画化。戦後まもないロンドンに住む若き作家ジュリエットが、ある日受け取った一通の手紙。それは、彼女がかつて所有していた本「Essay of Elia」をガーンジー島の古本屋で手に入れたドウシー・アダムズという人物が、その本に書いてあった彼女の名前と住所に宛てて、「Essay of Eliaの作者の他の本をどこの本屋で手に入れられるか」を尋ねたものだった。ドウシーの所属する読書会に興味を覚えたジュリエットは、ドウシーに本を送ると同時にガーンジー島を訪れるのだが…。大戦中ドイツの占領下にあったガーンジー島で読書会によってひっそりと温かな心の交流を続けていた人々と出会ったジュリエット。ガーンジー島の美しい情景と相まって、人としての美しい生き方とはなにか、ジュリエットとともに見ている者もあらためて問い直してしまう。忘れられない一本になること請け合いです。

観賞



音楽



You're stronger than you know

アーティスト：James Morrison

★★★★☆

イギリス出身のシンガーソングライターJames Morrisonの新作。少ししゃがれ声でソウルフルな彼は2006年にデビューし、その深みと温かみのあるサウンドでデビューアルバムUndiscoveredはUKチャートトップとなった。今回のアルバムは4年ぶりの5作目だが今までのスタイルをキープしながら聴きごたえのある曲がそろっている。幼少期に貧しい生活を過ごし、大病を抱えたり両親の離婚など問題が多かった彼はティーンエイジャーになってやっと彼の音楽が周りに認められ、自信を持つようになったという。そのギター腕前も相当でソロシンガーとして数々の賞を受賞している。今回のアルバムでは特にSo Beautifulが秀作。Slowlyもダイナミックな展開で惹きつけられる。これまでのアルバムを超えるほどの良さがある。



【第191回】 リュウグウへの遣い

リュウグウ(竜宮)といえば、古代から日本に伝わる著名な「浦島説話」の主要な舞台として登場します。定着している説話中では、主人公である浦島太郎が時の経過を失念するほどに、主である乙姫そして御付の鯛や平目が歓待した宮殿として描かれ、学習教材として親しまれた方々も多いのではないのでしょうか。殊に今年の2月には、何と『リュウグウノツカイ(以下使いと表記)』と『リュウグウへの遣い(以下遣いと表記)』が日本で大きな話題となり、偶々偶然が重なった出会いにより「リュウグウ月間」とでもいえる感を呈しました。

先ず年明け早々、日本海沿岸に姿を現し関心を集めた使いは、謎に包まれながら世界の海洋に広く分布し、長大なものでは体長が10mを超え体重も300kgに達する興味深い深海魚。対する遣いは、前者の住む深海とは対照的に2014年12月の打ち上げ以来、足掛け5年間の飛行に成功し、およそ3億km離れた直系約900mの微小天体(小惑星、以下Asと表記)「リュウグウ」へ遣わされた宇宙探査機。しかも遣いは、As「イトカワ」に対し同様なミッションに挑み、9年前オーストラリアのウーメラ砂漠に満身創痍で帰還した『はやぶさ』の姉妹機で、日本時間2月22日に最初の着地を敢行し、プログラム通り地表面のサンプル採集にも成功しました。先陣の失敗から学んだ教訓を生かしたサンプル採集は、場所と方法を変え今後更

に2回予定されています。帰還後実施されるサンプルの精査で、狙い通り生命誕生の痕跡が明らかになるか大いに期待されます。

「イトカワ」や「リュウグウ」が属するAsは、少数の例外を除き太陽系の第4惑星である火星と、その外側を周回する最も大きい惑星である木星の間に存在し、太陽を巡る公転周期は4~5年です。1801年の元日に第1号のケレスが発見されてから現在まで、観測技術の進歩に合わせ観測数が約80万まで右肩上がりに増え、今後もこれまでに以上の増加が見込まれるのは確実。数百万に及ぶに違いない大量のAsの起源については、太陽系の主要な天体に成り得なかった素材の残り、あるいは惑星乃至衛星に成長した後に天体との衝突を起こし破砕した破片等々、これまでに多くの仮説が提唱されています。いずれにしても多種多様なAsに、太陽系の初期の状態が保存されている可能性が高く、遣いが持ち帰るサンプルから生命誕生の手掛かりをと、研究者が期待を掛けるのも頷けます。

特に「リュウグウ」の色黒という外見も、生命を生む素材が含まれているか如何か判断するうえで重要です。それというのも発色の原因に注目した観測から、地面や岩石中に存在する多量の炭素(carbon、以下Cと表記)が突き止められ、リュウグウを組成面から分類した場合C型になります。保存された原始太陽系の素材でしかもC型Asとなれば、地球上の生物に共通する炭素化合物(有機物と呼ばれるのが一般的)の発見が待たれます。遣いは、通信の往復に30分近く要する遠隔地での課せられた役目を終え、リュウグウを離れ帰路につくのが今年の年末。往路と違い復路に要する飛行期間は僅かに約1年で、オリンピックの話題が落ち着く頃に帰還します。Asへの着地とサンプル採集の実績では、宇宙探査で世界に冠たるアメリカ航空宇宙局(NASA)を凌ぐ、遣いの無事な帰還が待たれます。

Travel Centre International

→→→ 格安航空券 取扱い中! →→→
※弊社では、別途発券手数料は頂いておりません。

弊社で“国際線航空券”をご購入頂いた方は、
海外旅行保険を 20%割引致します!

→日帰りツアー/国内旅行
シドニーの他、ケアンズやメルボルンのツアーもあります。

→海外旅行保険取扱い中

→TCI オリジナルツアー
ブルーマウンテンや土ボタル、ハンターバレー、空港送迎等の専用車手配も承っております。

お気軽にお問合せ下さい!

Suite 602 Level 6
309 Pitt Street Sydney NSW
Tel 02-9267-7751
Email: tci.travel@bigpond.com
<http://www.tcisvdney.com/>

TRAVEL CENTRE

JTT

DISCOUNT

日本食販売

JCS会員様 特別優待

お買物合計金額より5%割引!!
必ずお会計の前にJCS会員の旨をお知らせ下さい。

今月の新商品



味の素
Cook Do
炊飯器で作る鍋/バリエーション



新屋食品
中華三昧
新味鶏鍋



サントリー
のんある気分
百味サワーデイズト



サントリー
まるで梅酒なノンアルコール

そのほかにも新商品続々入荷中!

J-Top Trade Australia Pty., Ltd. Unit 3, 26 - 32 Kent Rd, Mascot NSW 2020
Ph: 02-9317-2500 / Fax: 02-9669-1988 Email: info@jtt.com.au
営業時間: 月~土 10AM - 5PM 日祝休 *駐車スペースあり

試してみよう マクロビオティックの健康レシピ 食べ物を変えると、体も心も変わる

池田恵子 ● soramame

第97回 ベトナム風スープ

夜になると秋の虫が鳴いて、秋になったのだなあと、しみじみした気持ちになりますね♪

まだ少し暑いと感じる日もあり、さりとて夜は涼しいこの季節、あっさりした暖かいスープがあると、食卓も体も和みます。ベトナムのフォーのスープをイメージしながら、動物性のダシやフィッシュソースは使わず、塩麴で旨味を出したひと碗です。

【材料】 4人分

ダシ汁

水 800ml(コンブと干しシイタケを入れて一晩おきダシ汁として使う)

コンブ 5×10cm

干しシイタケ 2個(ダシをとった後は、薄く切ってスープに加える)

具材

大根 100g(いちょう切り)

トマト 1個(くし形に切る)

青梗菜 2〜3枚(食べやすく切る)

ネギ 1本(斜めうす切り)

薄く切ったシイタケ

ソフト豆腐 150g(手でちぎる)

調味料

塩麴 大さじ3

梅酢 小さじ1

トッピング

ネギ 1本(小口切り)



【作り方】

①鍋をダシ汁と大根を入れ沸騰したら中火にして15分煮て、その他の野菜を入れて再び沸騰したら弱火にして5分煮る。

②調味料を加えて火を止め、器に分けたらトッピングを散らす。

マクロビオティックって？

マドンナやハリウッドスターたちが実践している食事法ということで有名になったマクロビオティック。実はこれ、大正時代に日本で発祥した「食養法」「正食法」のことです。

穀物を中心とした菜食をする、食物を丸ごと食べる、住んでる土地で採れたものを食べる、動物性の食を避ける、白い砂糖を避ける、そうしているうちに自然と心も体も健康になる。そんなシンプルで簡単な方法です。

気軽にできるマクロビオティックのヒントがいっぱい。

詳細はウェブサイト→ www.soramame.com.au

外食日記



Fresh and Hot - Ma La Tang

住所: Shop 5, 1-7 Magdalene Avenue, Wolli Creek

電話: (02) 8018-9263

営業: 毎日 11:00〜21:00

予算: \$15

雰囲気 5

料理 7

サービス 6



今月はWolli Creekにある麻辣燙のお店です。最近、好きな食材を選んでボウルに入れ、レジで食材の重量を量って清算した後、スタッフが食材を食べやすい大きさに切り、辛くて痺れる麻辣のスープで煮込んで提供するお店をよく見かけるようになりました。今回のお店は、麻辣のスープ以外にラクサ(スパイシーなココナッツミルクのスープ)も選べるということで行ってみました。

麺は米麺、小麦麺、うどん、インスタント麺など各種あります。具材は葉物、キノコ、豆腐、肉、海産物、練り物などがあります。魚卵の入った練り物が美味しかったです。提供されたのが写真ですが、丼ではなく、直前まで火にかけていた金物の鍋で出されるのが珍しいです。具材1kgあたり\$25で好きな食材を好きな量だけ取ってオリジナルのラクサを作るのは、新しい試みかと思いました。



仏教語からできた 日本語 その158

渡部重信
Email hbma@optusnet.com.au
浄土真宗本願寺派[西本願寺]
オーストラリア開教事務所長



法律Q&A 弁護士に 聞いてみよう 145

主任弁護士 林由紀夫 (H & H Lawyers)

坐禅(ざぜん)

日本人はもとより、世界中の人々の間で最もよく知られている仏教の修行法の一つに坐禅があります。両足を組んで白い壁に向かって座り精神集中をし、そして無念無想の境地に入る修行法です。中国、韓国そして日本ではこの坐禅を修行の一つとして行う禅宗と呼ばれる宗派が古くから成立しています。日本においては、鎌倉時代、看話禅(かなぜん/かんわぜん)と呼ばれる師から提示される公案(こうあん)を解くという禅問答を通じて悟りを目指す栄西禅師によって伝えられた臨済宗、默照禅(もくしょうぜん)と呼ばれるただひたすら座って精神を集中させ、「成り切る」ことにより悟りを目指す止観打座(しかんたざ)を完成させた道元禅師の曹洞宗、江戸時代に明から渡来し京都宇治の黄檗山に萬福寺を創建された隠元禅師を祖とする黄檗宗などがあります。

日本では、坐禅と聞くだけで、それが仏教の修行の一つであり、禅宗、それも曹洞宗を思い起こすこととなりますが、インドにおいて坐禅は古来、宗教修行者が一般的に行っていた修行で、仏教の修行者のみに限定された修行法ではなかったということが興味深い事実としてあります。



道元禅師(1200~1253)

坐禅の「禅」は、サンスクリット語の、「ディヤーナ(dhyana)」(パーリ語では、ジャーナ(jhana))を、漢字で「禅那(ぜんな)」と音訳したものの省略形です。意識して「静慮(じょうりょ)」或いは、「定」となります。音訳語の「禅」と意識語の「定」とを合わせて、「禅定」とも言い表すことがあります。

この「禅」に「坐」を加えたものが坐禅です。私は同じ姿勢で座り足が痺れ痛くなる坐禅がどうも苦手です。長く同じ姿勢でいると、どうも足の方に気が散ってしまい精神集中できなくなるように感じました。しかし、禅僧に言わせると、普通に座っていることの方が、より足が痛くなるらしいとのこと。やはりプロは違うものだと感じましたものです。

もっとも最近では、一般大衆の為に、曹洞宗では、「椅子禅」を勧めているところもあるそうです。色々な心の落ち着け方が紹介されていますが、ただ座るにしろ、公案をするにしろ、お念仏を称えるにしろ、自分が自分の心をちゃんと落ち着けて、その心を開き他者を受け入れ、理解し、感謝する心を持つことが大切なのではないかと感じている昨今です。 合掌

Q:先日、私の父が他界しました。父の古い友人が遺言書に基づき遺言の執行者を務めています。昨日、父の埋葬をどうするかについて口論となってしまいました。私は、父が以前、散骨を口にしていたことを伝えたのですが、父の友人は離婚して既に他界した母の墓地に近い場所に埋葬することが一番だと言って譲りません。父の埋葬に関して遺言書には何も書かれていないのですが、私には何か法的な権利はあるのでしょうか？

A:故人の葬儀・埋葬の方法等に関して一般的には、故人の遺言書の意味が反映されたり、遺族間の話し合いで決められることが多く、あまり争いになるケースはありません。ただし稀に、あなたのように、遺族間で意見が一致せず、争いになるケースがあります。

今回のように遺言書がある場合には、法律上、原則的に遺言執行者が葬儀・埋葬につき決定権を持ちます。意外に思われるかもしれませんが、埋葬の方法について、たとえ生前に故人が遺言書の中に指示を書き入れたとしても、それが遺言執行者を法的に拘束することはできません。

NSW州最高裁判所は、Smith v Tamworth City Council という1997年の判例において、葬儀・埋葬に関する原則を示しています。そのうちのいくつかを下記に要約します。

- 故人の遺言にて遺言執行者が指定されている場合、その遺言執行者が故人の葬儀・埋葬を取り仕切る権限を有する。遺言執行者は、遺言書にある故人の葬儀・埋葬に関する指示に従う法的義務を負わない。
- 遺言書が存在しない場合、遺産の相続順位の最も高い者が、原則的に、遺言執行者と同様の権限を有する。
- 執行手続きについて二名以上の者が同等の権限を有している場合は、誰が埋葬を遅滞なく現実的に行えるかどうかを考慮し、決定する。
- 埋葬を取り仕切る権限を持つ者は、他の利害関係者(例えば残された家族・親戚など)と相談をすることが期待されるが、そのような相談をする法的義務は負わない。

いずれにせよ、皆が納得できる葬送を行えることが一番です。自身の死後について、あれこれ考えることに気後れする方も多いかもしれません。しかし、たとえ法的拘束力が無くとも、生前から自身の希望を周囲に伝え、遺言書の中にもはっきりと希望を書いておくことが、残された家族や親族・友人間での不必要ないざこざを避けるためにも、望ましいと思います。

暮らしの医療

概日リズムと睡眠

ドクター・鳥居／Northbridge Family Clinic

概日リズム(Circadian rhythm)とは一日の睡眠と覚醒のサイクルをコントロールしている体内時計です。脳の松果体(Pineal gland)という内分泌器から放出されるメラトニンという物質が作用しています。松果体は脳内の中央、2つの大脳半球の間に位置し、間脳の一部である2つの視床体が結合する溝にはさみ込まれています。

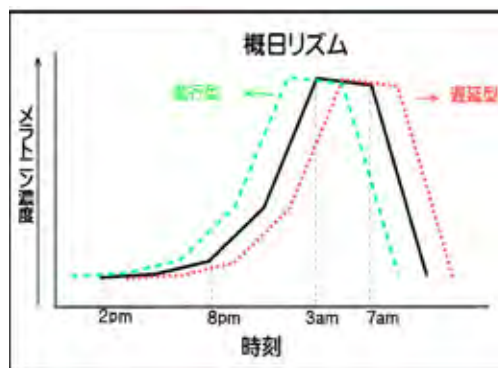
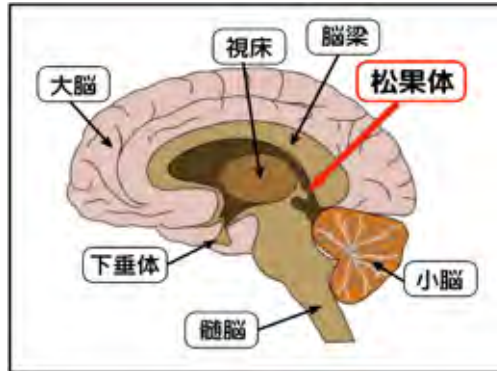
メラトニンの生合成にはトリプトファンというアミノ酸が必要です。トリプトファンは赤みの肉、魚、鳥肉、ミルク卵などに含まれています。

メラトニンはまず、松果体の中でセロトニンという脳内の神経伝達物質に変換されます。セロトニンの濃度は日中が一番高く、夜間でまわりの光が少なくなるとともに濃度は80%低下します。そしてほとんどのセロトニンはメラトニンに変換されます。

メラトニン濃度の変動

メラトニン濃度には季節性の変化があります。秋と冬のあいだは濃度が上がり、春と夏には濃度が下がります。季節的感情障害(Seasonal affective disorder、SAD)では冬期に悲しくなったり落ち込んだりして、場合によってはうつ病になったりすることもあります。秋、冬のメラトニン濃度の上昇と関連があるのではないかとされていますが、はっきりとしたことはまだ証明されていません。ただ、季節的感情障害の患者さんに低用量のメラトニンを夜間投与したら気分が晴れることもあります。

また、メラトニンの濃度は年齢とともに変化します。メラトニンの分泌は生後3～4カ月から始まります。これは新生児が夜間をとおして睡眠するパターンが成立する頃と一致しています。その後メラトニン濃度は2～3歳のピークまで上昇を続け、青春期末で濃度が保たれ、その後徐々に低下していきます。70歳ではメラトニン濃度は若いころの1/4以下になっています。ですから高齢期(55歳以上)の不眠症にメラトニンが効果的なものかもしれません。



メラトニンと睡眠

薄明かりのメラトニンの発症(Dim light melatonin onset、DLMO)といって、朝の薄明かりの時間にメラトニンの分泌が上昇してくる時が概日リズムの一番正確なマーカーとされています。概日リズムが標準より早いタイプ(進行型)は午後6時頃からメラトニンが上昇し、早めに眠気がおこってくるようです。逆にリズムが遅いタイプ(遅延型)は午後10時頃からメラトニンが上昇し、夜遅めにならないと眠気がおこらないようです。

メラトニンの効果

飛行機で旅行して東に向かうと遅延型のリズムになり、夜、眠りにつきにくく、朝はなかなか起きられないという現象がおこります。

また、飛行機で西方向に飛んだ場合、進行型のリズムになり、夜は早めに眠気がおこり、朝は早めに起きてしまいます。このような時差症候群をメラトニンの服用によって概日リズムを通常のリズムに戻し、軽減することが可能です。この場合、メラトニンを服用するタイミングが大切です。インターネットでタイミングを計算できるアプリがあります。

また、夜間勤務のシフトワーカーの概日リズムを改善する時にも役立つようです。そして高齢(55歳以上)で不眠症が起きている場合、メラトニンレベルの低下が原因かもしれませんのでメラトニンが効果があるかもしれません。

メラトニンの服用に関して

オーストラリアでは2mgの錠剤が売られています。処方箋が必要です。飲むタイミングは就寝時間の1～2時間前です。子供や妊婦の服用に関しての安全性はまだわかっていません。

副作用は少なく、眠気、頭痛、めまい、吐き気などがおこることもあります。飲むタイミングを間違えるとおこりやすいようです。長期の服用(6～12カ月)は安全で、薬物耐性はおこらないようです。



今月の喜怒哀楽 〈喜怒哀楽〉

下の娘が17歳。いわゆるティーンエイジャーで、ここ何年も「難しい年頃」オーラを出し続けている。何にでも文句を言う。携帯電話から離れられない。ドラマクイーン。すぐ叫び、泣く。勉強に対してやる気がない。毎晩、深夜まで起きている。食べ物は好き嫌いが激しい。不健康なものばかりを好んで食べて、飲む…。感情の波が激しく「怒」「哀」はしょっちゅう。本当に手が焼けて大変だが、もちろん「喜」「楽」もある。可愛いところもあるのだ。機嫌がいい時は擦り寄ってきて、一緒にセルフイーを撮ったりする。音楽的な才能があるようで、サクソフォーン、ドラム、ピアノができる。娘の所属するバンド関係のコンサートに数多く行って親の私も楽しんだりしている。心優しい一面を見せてくれる時もあるのだ。高校生活もあと半年あまり。娘の「怒」「哀」の頻度が少なくなると願っている。(ケーエム)

編集後記

▼先日、ぎっくり腰になってしまった！何せ初体験だったので、ビックリ！その後のリハビリでどうにか以前の状態に戻ってホッとしたところ。▼腰に用心しながらソロソロと参加したのがハーモニーディナー。本誌2ページに報告がありますが、当日はシティ校の委員と先生方が着物と浴衣姿で参加され、多くの参加者から「一緒に写真を撮って！」とせがまれるほどの人気でした。▼このイベントは多様な文化を賞賛するものでもあり、まさに日本の伝統文化が輝いた一時でした。一緒に参加した私も嬉しかったです。美よ永遠なれ！(游)



シドニー日本クラブ(JCS)は、オーストラリアに住む日本人および日系人家族の親睦を図り、オーストラリア社会の一員として日本文化の定着とその維持に努め、また他の諸民族の人たちとの相互理解の向上を図ります。

シドニー日本クラブ役員

名誉会長	竹若 敬三(在シドニー日本国総領事)
相談役	Chalker 和子
会長	水越 有史郎(教育支援委員会代表)
副会長	渡部 重信(事務局・編集委員会編集長)
副会長	平野 由紀子(JCSレインボープロジェクト代表)
理事	多田 将祐
理事	川上 正和
理事	Joannes えみ
専門理事	林 さゆり(親睦の会会長)
専門理事	Fraser 悦子(コミュニティーネット幹事)
専門理事	Costello 久恵(JCS日本語学校シティ校代表)
専門理事	阿部直子・松隈由紀子(JCS日本語学校ダンス校共同代表)
専門理事	水越 有史郎(JCS日本語学校エッジクリフ校代表)(兼任)
事務局長	藤田 結花(会計・事務局長)
監事	会計監査(岩佐 いずみ/Richter 幸子)

クラブ代表 シドニーソーラン踊り隊(水越 有史郎)
JCSフラアロハ(Gault 良子)
ソフトボール部(加藤 雅彦)

編集委員会 編集長(渡部 重信)
編集委員(水越 有史郎/西牟田 佳奈/佐藤 薫/大塚 藤子
林 由紀夫/多田 将祐/マーン 薫/坂口 潤/斉藤 直子)

編集から

投稿原稿募集！

会員の方の生の声を募集しています。本誌を読んだ感想や、誌面に対する注文、会に対しての要望、日頃感じ

ていることなど、何でも構いません。皆さんからの率直なご意見や、誌面に対する感想などが、今後の誌面作りに多いに役立ちます。また、絵や写真、詩、俳句、短歌などでも構いません。お気軽にお寄せください。

原稿は、趣旨を変えない範囲で手を加える場合があります。文字数は最大1000文字です。投稿原稿は、誌面や内容、時期などの都合により掲載を見合わせる場合がありますので、ご了承ください。

告知板について

「告知板」は会員の方が「売ります」「買います」「教えます」など、個人の広告を掲載するコーナーです。会員の方なら、一回に限り無料で掲載できますので、ご利用下さい。

いずれも原稿は、以下宛に送ってください。

Email: editor@japanclubofsydney.org

本誌のカラー版は、電子版をダウンロードしてください。

www.japanclubofsydney.org

会員特典



JCS の会員の皆さんが受けられる特典です。
ぜひ、ご利用ください。

エーブルネット(携帯電話会社)

Suite 29, Level 17, 329 Pitt Street Sydney 2000

Phone: 02-9264-9601

Email: info3@able.net.au WEB: https://able.net.au

①【オーストラリア国内サービス】格安SIMプラン:7GBで月額\$30、10GBで月額\$37。

②【日本向けサービス(日本帰国時に)】オーストラリアで受取り・返却&購入で日本到着後すぐネットが使える。

【日本向けポケットWiFi】2週間以上レンタルすれば、よりお得に!

【日本向けデータSIMカード】ご自身のアンロックされたスマートフォンにSIMを入れれば、日本でそのままネットが使える便利なサービス。

★詳しくは、WEBをご確認ください!

NBCA PTY LTD

Suite 41, Level 1, 45 Chandos Street, St Leonards 2065

Phone: (02) 8007-5363

担当: 人材(加藤)、ビザ(山口)、留学(山口)

Email: info@nbca.com.au www.nbca.com.au

ビザ申請及び人材紹介費用につきましては、JCS会員のみの通常の料金から10%の割引にさせていただきます。留学につきましては、JCS会員のみの通常料金から特別割引させていただきます。(学校によりこのサービスの対象にならないものもございます。)

甘利会計事務所

Amari Tax & Accounting

Suite 1003 Level 10, 84 Pitt Street, Sydney 2000

Phone: (02) 9223-7448

E-mail: info@taxjp.com.au

新規顧客に特典

JCS会員の皆様のタックス・リターンの申請・作成に当たり、料金から15ドルを割引いたします。お支払いの際にこのクーポンをご提示下さい。同時にお二人以上で申請される場合にも、1枚で全員に適用できます。

プラネットヘア(日本人美容室)

Level 2, 61 Market Street, Sydney 2000

Phone: (02) 9267-4881

JCS会員の方は平日15%Off、土日は10%Offになります。また、平日2時までに2人以上で来店の場合20%Off(カットは15%Off)。日本の器具、商品を使用していますので、安心して来店ください。特に白髪染めは植物100%のヘナを使用し、パーマは髪のコシがない方には十仁パーマをお勧めします。詳しくはwww.planethair.com.au/jp/を見てください。

ほんだらけフル・オブ・ブックス

Level 2, 39 Liverpool St, Sydney 2000

Phone: 02-9261-5225 Email: hondarake@gmail.com

Website: http://fullofbooks.com.au

シドニー最大の日本古書籍買取・販売店。海外にいても手軽に日本の本・CDなど選べるうれしい店内在庫約8万点をご用意しています。買取も随時受付中。

このクーポンをご提示のJCS会員の方へ、本・CD・DVDのお買上を5%特別割引いたします。(※セール商品や化粧品など一部除きます。尚、クーポンは原本のみ。コピー不可とさせていただきます。)

Rumiko's Creation ROCOMI Beauty Circle

Mobile: 0402-178-519

お肌の大敵、乾燥や紫外線…みなさん、毎日のスキンケアはどうしていますか?

きれいで健康なお肌は、健やかな毎日の“ビタミン美”…和漢植物エキス配合の薬用化粧品をぜひお試しください。

店頭では手に入らない日本からの直輸入品です。

★JCS会員特典: 初回ご購入の際に、ご購入合計金額より5%割引。さらに洗顔時の必需品、ソープネットをプレゼント! お気軽にご連絡下さい。

JTTディスカウント日本食販売

Phone: (02) 9317-2500

Fax: (02) 9669-1988

Email: info@jtt.com.au www.jtt.com.au

お申し込みの際に「JCS会員」と明記ください。会員の方は5%割引とさせていただきます。

メルマガを登録して頂いたお客様には、お得な情報を随時お送りいたします。ご来店の際にぜひご登録下さい。

(※配送可能地区、曜日はホームページまたはお電話にてご確認ください。)

そらまめ

Email: classes@soramame.com.au

www.soramame.com.au

Mobile: 0402-961-907

そらまめは、マクロビオティックのクッキングクラスや個人の献立プラン、コンサルテーションも承ります。JCS会員の方には、クッキングクラスとコンサルテーションの費用から1名様\$10割引をいたしますので、お申込みの際にお知らせください。お申込み、お問合せはウェブサイト、またはEmailでお気軽に♪

JCSだより2019年4月号(4月1日発行 通巻第405号) 次号5月号は5月1日発行です

JCS事務局連絡先

本誌やJCSに関するお問い合わせは、Japan Club of Sydney Inc.
PO Box 1690, Chatswood NSW 2057 電話:0421-776-052 (9時～18時)
Email:jcs@japanclubofsydney.org (渡部重信) まで。

JCSだより原稿送付先

原稿は毎月15日迄に、渡部編集長(editor@japanclubofsydney.org)
または、JCS事務局宛にEmailか郵送にてお送りください。

入会案内

入会をご希望の方は入会申込書に必要事項を記入のうえ、入会金と年会費を添えて
JCS事務局までご返送ください。入会申込書はウェブサイトからダウンロードできます。

- ①入会申込書に、入会金 \$33 と年会費 \$70 (+ 発送費 \$10) の合計金額の小切手を添えて、事務局までご送付下さい。現金は受け付けておりません。海外会員・法人会員の場合は入会金なし、年会費 \$110 (GST 含む) のみです。
- ②入会金及び年会費の銀行振込は、以下の口座宛にお願いいたします。その際、必ず名前をお知らせください。
- ③住所・家族構成に変更があった場合は、会報送付の宛名用紙の「登録事項変更届」に記入のうえ、事務局までお送り下さい。または、メールにてお知らせください。(Email : jcs@japanclubofsydney.org)
- ④入会金・年会費は変更される場合があります。

If you want to join the JCS, please fill in the application form and send it with an appropriate cheque to: Japan Club of Sydney PO Box 1690, Chatswood NSW 2057. If you have any queries, please call on 0421-776-052.

- (1) Please fill out the form & send it to the address above with a cheque or money order for the joining fee \$33, the annual membership fee \$70 plus Postage \$10, total \$113 (inc.GST). DO NOT send cash. For overseas members or corporate members there is no joining fee but the annual membership fee is \$110.00 (inc.GST).
- (2) For EFT payment, please pay the bank transfer of joining fee and annual fee to the following bank account. In that case, please be sure to let us know your name.
- (3) Should there be any change in your address etc, please let us know without delay c/- the above address or email to us.
- (4) Please note that both the joining fee & the annual fee of the Club are subject to change without prior notice.

JCSだより広告案内

広告締切は毎月15日です。広告(そのまま掲載できるアートワーク)を、
PO Box 1690, Chatswood NSW 2057まで送付ください。

広告スペース	広告サイズ	料金 (1回のみ)	会員割引料金 (1回のみ)	会員割引料金 (6～11ヵ月)	会員割引料金 (12ヵ月以上)
1 ページ	横18cm×縦25.5cm	\$ 220.00	\$ 176.00	\$ 154.00 (月額)	\$ 132.00 (月額)
1 / 2 ページ	横18cm×縦12.5cm	\$ 132.00	\$ 99.00	\$ 88.00 (月額)	\$ 77.00 (月額)
1 / 3 ページ	横18cm×縦8.2cm	\$ 99.00	\$ 77.00	\$ 66.00 (月額)	\$ 55.00 (月額)
1 / 6 ページ	横8.7cm×縦8.2cm	\$ 55.00	\$ 44.00	\$ 38.50 (月額)	\$ 33.00 (月額)
折り込みチラシ	A 4 サイズ以内	\$ 440.00	\$ 330.00	※非会員の継続掲載にも、継続掲載割引があります。	

「JCSだより」では皆様からの広告を募集しています。本誌は会員に直接送付されますので、格安な料金で浸透力のある広告効果が得られます。お申し込みの際は、上記のサイズ・期間・料金を明記の上、掲載する完全な広告原稿(正しい広告サイズで、読みやすくはっきりと仕上がったアートワークまたはデータ)を、事務局宛に郵送もしくはメールでお送りください。銀行振込は以下の口座宛にお振り込みください。締切は毎月15日必着です。チラシの同封は、A4サイズ以内で印刷されたものを、部数分ご用意ください。※広告内容が本誌に相応しくないと判断した場合、掲載をお断りすることがあります。ご了承ください。

※JCSでは本誌掲載の広告内容に関しては一切責任を負いかねますので、その旨ご了承ください。

●入会金・会費・広告料金のお支払方法●

■会費納入届または広告原稿を小切手と共にJCS事務局まで郵送する場合

小切手の宛名は「Japan Club of Sydney Inc.」をお願いいたします。

郵送先: Japan Club of Sydney, PO BOX 1690, Chatswood, NSW, 2057

■会費納入届または広告原稿を郵送またはメールで送り、会費を銀行振込する場合

振込時に、登録会員名(フルネーム)と電話番号をDescription/Reference欄に必ず入力して下さい。

お名前がない場合は、支払い元不明で未払い扱いになるためご注意ください。

振込先 Account Name: Japan Club of Sydney Inc. BSB No: 032-002 Account No: 51-3156

www.japanclubofsydney.org